

【エクアドル内政・外交：2018年3月】

1. 内政

(1) 3月18日、国境付近における海軍兵士及び警察官への爆弾攻撃等事件の発生

18日（日）午前、エクアドル北西部、エスメラルダス県北部のコロンビアとの国境付近において、警戒活動中のエクアドル海軍兵士及びエクアドル国家警察官が、それぞれ別の場所において、爆弾攻撃等を受け負傷等した事件が発生。

ア 発生日時

3月18日（日）午前

イ 発生場所

エクアドル北西部に位置する、エスメラルダス県サン・ロレンソ市内

- ① エル・パン地区（海軍兵士が攻撃を受けた場所）
- ② アルト・タンボ地区（国家警察警察官が攻撃を受けた場所）

（いずれの地区も、1月27日に自動車爆弾テロ事件が発生したサン・ロレンソ市内に所在する地区であり、コロンビアとの国境付近に位置し、エクアドル政府から発布されている「緊急事態宣言」の対象地域。首都キトから、それぞれ道のり約280Kmの距離）

ウ 被害者及び被害状況

- ① 海軍兵士2人

エル・パン地区において警戒活動中（3月16日にエロイ・アルファロ市内ボルボン地区において海軍施設が爆弾攻撃を受けた関係で活動中であったもの。）、狙撃され、更に路上に仕掛けられていた爆弾が爆発し、兵士2人が重軽傷を受けたと見られる。

- ② 国家警察警察官1人、海軍兵士1人

アルト・タンボ地区においてパトカーに乗車し警戒活動中、路上に仕掛けられていた爆弾が爆発し、警察官1人及び兵士1人が軽傷を受け、パトカーが大破したと見られる。

(2) 3月20日、国境付近における海軍兵士への爆弾攻撃事件の発生

20日（火）午後、エクアドル北西部、エスメラルダス県北部のコロンビアとの国境において、警戒活動中のエクアドル海軍兵士が爆弾攻撃を受け死傷した事件が発生。

ア 発生日時

3月20日（火）午後

イ 発生場所

エクアドル北西部に位置する、エスメラルダス県サン・ロレンソ市内マタヘ地区

(1月27日に自動車爆弾テロ事件が発生したサン・ロレンソ市内に所在する地区であり、コロンビアとの国境に位置し、エクアドル政府から発布されている「緊急事態宣言」の対象地域である。首都キトから、道のり約290Kmの距離)

ウ 被害者及び被害状況

海軍兵士死傷者10人(死亡3人、負傷7人)

エクアドル海軍小隊が、マタヘ地区において警戒活動中(3月16日にエロイ・アルファロ市内ボルボン地区において海軍施設が爆弾攻撃を受けた関係で活動中であったもの。)、仕掛けられた手製爆弾が爆発し、死傷したものを。

(3) 3月26日、国境付近における報道関係者誘拐事件の発生

3月26日、エクアドル北西部、エスメラルダス県サン・ロレンソ市マタヘ地区において、エル・コメルシオ紙の社員3名が誘拐された。

ア 発生日時

3月26日(月)午前8時半頃

イ 発生場所

エクアドル北西部、エスメラルダス県サン・ロレンソ市内マタヘ地区

ウ 概要

エル・コメルシオ紙の社員3名(記者1名、カメラマン1名、運転手1名)は25日から現地入りしたが、26日午前8時半頃、会社と連絡が取れなくなっていた。治安当局が捜査中で、犯行グループとは既にコンタクトがとられた様子であり、誘拐された3人(コロンビア領域内に移送されたと推測)は生きていると確認された。モレノ大統領は27日、最高治安審議会(大統領府、国会、最高裁判所、国家警察、エクアドル三軍、外務省等からの代表者による)を招集し、全力を挙げて同事件に対処する旨伝えた。

(4) 閣僚の交替

モレノ大統領は、3月6日付大統領令第330号により、電力・再生可能エネルギー大臣、同第331号により、経済・財務大臣の交替を発表した。

ア 辞任した閣僚

エルシ・アレハンドラ・パロディ・オカニャ電力・再生可能エネルギー大臣
カルロス・アルベルト・デ・ラ・トレ経済・財務大臣

イ 新閣僚

ルベン・ダリオ・ウィルソン・バレノ・ラモス新電力・再生エネルギー大臣
(代理)

マリア・エルサ・ビテリ・アカイトゥリ新経済・財務大臣

ウ バレノ新電力・再生エネルギー大臣(代理)の前職は、電力・再生エネルギー副大臣。ビテリ新経済・財務大臣は、コレア前政権で財務大臣の経験(2008~10年)がある。

(5) 国会議長の辞任と新議長の就任, バカ検事総長の弾劾手続きの開始

ア 国会議長の辞任

9日, エクアドル国会は, セラーノ国会議長の国会議長職からの解任及びバカ検事総長に対する弾劾手続きの開始を決定した。

(関連の報道のポイント)

- ① 3月9日, エクアドル国会は, 103名の議員の賛成(3名が棄権。残り31名は欠席。)により, セラーノ国会議長の国会議長職からの解任及びバカ検事総長に対する弾劾手続き(Juicio Político)の開始を決定した。右を受け, セラーノ国会議長は国会議長職から辞任した(国会議員としては留任)。
- ② セラーノ国会議長が国会議長職を辞任するよう求める動きは, 2月26日にバカ検事総長が公開したセラーノ氏とポリット元会計検査院長の会話音声に起因しており, 同音声にて, セラーノ国会議長は, バカ検事総長を解任させたい意向を「ポ」元会計検査院長に対して述べている。
- ③ バカ検事総長については, 同じく「ポ」元会計検査院長の関連の情報から, 2010年のいわゆる「9月30日事件」に関する資料改ざん及び収賄の疑いが浮上している。改ざんされた疑いのある同資料に基づき同事件の裁判は行われ, 事件に関わったとされた警察等が有罪となり刑罰を受けている。

イ 新国会議長の就任

14日, エクアドル国会は, 新国会議長として, エリザベス・カベサス議員(与党国家同盟(AP)所属, ピチンチャ県選出)を選出した。

(関連の報道のポイント)

- ① 14日, エクアドル国会は, 賛成84票, 反対2票, 棄権21票(107名の議員が出席)により, 新国会議長としてエリザベス・カベサス議員を選出した。同議決の直後, カベサス議員は同国会(第505回)において, 新国会議長に正式就任した。
- ② カベサス新国会議長は, 「デリケートで難しい」課題に取り組んでいく旨述べ, 「国は汚職の重大な事実を引き続き立ち向かうべきとの期待と欲求を持っている。」との考えを示した他, 政党間の対話を通じた仕事を行うための立

法府内の改革が必要であると述べた。

加えて、「より少ない対立，より多くの対話と結果」が必要である旨述べ，コミュニケーション法改正法案，国民投票の結果を受けた法整備，労働，教育，女性，保健・医療分野の法整備に取り組む必要性を述べた。

(4) モレノ大統領の情報庁廃止の発表

モレノ大統領は，19日，情報庁 (Secretario de Inteligencia) を廃止すると発表した。

(5) 次期地方選挙の日程発表

23日，次期地方選挙の実施日が2019年3月24日となる旨が発表された。同日，市民参画・社会コントロール審議会 (CPCCS) の正式メンバーを選出する選挙も実施される見通し。

(6) モレノ大統領の支持率 (CEDATOS 社)

民間調査会社CEDATOS社が，モレノ大統領の支持率に関する世論調査結果 (3月15日実施，国内主要16都市における16歳以上の2200人を対象。) を同社ホームページにて発表した。

タイトル「コレア前大統領が記録した水準を超える結果」

2018年3月 (政権発足後10か月) のモレノ大統領の支持率は，60.1%に達した。政権発足時 (2017年5月) の支持率は66%で，その後，2017年8月には，政権発足後の10か月間で最も高い77%を記録した。2017年12月には70.9%，2018年1月には68.6%，2月に65.3%，3月に60.1%と支持率は下降傾向にあるが，過去10か月間の支持率の平均値は71.9%である。

一方，コレア前大統領の支持率は，政権発足年に68%，その後の3年間は平均53.3%，次の3年間で50.7%，最後の3年間で43.7%と推移し，任期終了時には47%であった。

2. 外交

(1) モレノ大統領等のチリ大統領就任式への出席

チリの大統領就任式に，モレノ大統領夫妻，エスピノサ外務大臣，文化大臣他が出席 (3月9日夜～11日)。首脳会談等の意見交換の場で，経済関係強化について的一致，鉱業関係の協定締結等が行われた。モレノ大統領は，各種インタビューに応じ，前政権の批判等を行ったと報じられた。

(2) キトにおけるコロンビア和平関連会合の開催

22日、エスピノサ外務大臣は、コロンビア和平関連会合を開催。コロンビア政府及びE L Nに対し、ラテン・アメリカの国民の利益になる具体的行動を取ることを呼びかけた。また、同会合では、4月2日から、停戦に関する評価を行うことが発表された。

(3) モレノ大統領の本年中の訪中の発表

23日、エクアドル外務省は、モレノ大統領の本年中の訪中を発表するプレスリリースを発出した。

(4) アサンジ・ウィキリークス代表の亡命問題関連

28日付外務省プレスリリースは、アサンジ氏のインターネット接続遮断を発表した。同氏のネット上での不適切な発言への対応である。

これに対し、人権侵害であるとしてネット上で批判が展開されており、31日付外務省プレスリリースは、同批判に対する反論を行っている。